

〒184-8511 東京都小金井市桜町 1-2-20 / TEL042-383-4111 (代) [http:// www.sakuramachi-hp.or.jp/](http://www.sakuramachi-hp.or.jp/)

基本理念

私たちはキリストのように人を愛し 病める人、苦しむ人 もっとも弱い人に奉仕します

基本方針

1. 地域医療機関と強い連携を保ち、地域に根ざした信頼される病院運営をめざします。
2. 全人的（身体的、精神的、社会的、霊的）ケアを行います。
3. 全職員のよいチームワークによる患者さん中心の医療を行います。
4. 常に自己研鑽に努め、質の高い、安全・安心な医療を提供します。
5. 患者さんの訴えに誠心誠意耳を傾けます。

病院長が交替になりました。柴崎啓一病院長が退任し、小林宗光副院長が病院長に就任しました。また、瀬口秀孝運営部長が副院長に就任しました。なお、柴崎院長には名誉院長としてご指導頂くこととなりました。

病院長を退くに当たって



前病院長
柴崎 啓一

整形外科診療の強化を主目的に平成17年4月1日に赴任して参りました。私の印象では当時の聖ヨハネ会桜町病院は産婦人科など一部診療科を除けば診療活動が活発とは言い難い状況でした。建物の老朽化も著しく、手術室なども内固定金属を使用する脊椎手術などが行える状態ではありませんでした。更に、前職の国立病院院長の経験から判断しても、病院の経営状態に関する一般職員の

認識の程度は低く、サービス態度等も財政危機に瀕している病院運営も宜なるかなと感じざるを得ない状況でした。要請されるままに赴任2年後には病院長を引き受けましたが、病院運営の安定化に向けた最初の院長業務は、金融機関からの勧告に基づく経営コンサルタント会社の立ち入り調査でした。しかし、屈辱的とも言えるこの外部機関による調査は病院職員にとっては現状認識を促進し、改善に向けた院内結束のきっかけになったような気がします。

以後、赤字体質の打破に向けて全職員の全面的な協力を仰ぎつつ、種々の委託業務の見直しを中心とした冗費節減対策、各種地域連携医療体制の整備拡張、および看

護師を初めとするコメディカル・スタッフの可及的充足を行いつつ、医師増員による診療内容の拡大強化策等を積極的に展開しました。加えて、診療報酬体系の大幅改定に合わせて手術体制を強化した結果、平成22年度の診療実績はほぼ事業計画に沿った成果を上げることが出来、病院運営の安定化も見えて参りました。職員全員が一丸となった経営改善への努力の成果です。なお、この3年間に何度となく訪れた運営資金の調達困難時にはシスター方の老後に備えた積立金を再三にわたり修道会より一時的に融資して頂きました。経営を預かっていた私にとって誠に有り難く、忘れられぬ思い出です。

平成23年度に入っても病院運営は正しい軌道上をほぼ順調に進行しております。ただし、私自身は年間4度の入院を繰り返すなど身体的な疲労が明らかで、前職を含めて13年の院長在任期間が私にとっては体力の限界のようです。平成23年12月末日をもって病院長から退くことを決意し、去る11月末に開催された聖ヨハネ会の理事会に於いて病院長引退を承認して頂きました。

病院運営の改善に向け目の色を変えて頑張った病院全職員の仕事ぶりに深く感謝します。また、シスターの皆様方ならびに聖ヨハネ会本部の方々から賜った温かい励ましと数々の御支援に厚く御礼申し上げます。

病院長就任にあたり



新病院長
小林 宗光

明けましておめでとうございます。1月1日付けで聖ヨハネ会桜町病院に就任いたしました。

当院の理念・基本方針に沿った安心・安全なより良い医療の推進、より地域に根ざした病院づくり、そして患者様にも職員にとってもより満足度の高い病院づくりに全力で努力したいと思っております。前任の柴崎啓一病院長同様に皆様のご指導、ご支援を賜りますようお願いいたします。

聖ヨハネ会桜町病院は昭和14年の開院以来72年、いくつもの危機を先人たちの努力と奉仕のこころで乗り越えてきました。ここ5、6年を見ましても病院の全面改築と悪化した経営環境からの脱却という難問がありました。「えっ、できるの、やれるの」と職員ですら感じた難問を石島武一元病院長、柴崎啓一前病院長の下、全職員が頑張って解決してきました。これが桜町病院の底力でしょうか。この一連の改革の中で医師も増え診療内容

も充実してまいりました。特に産婦人科の腹腔鏡手術と整形外科の脊椎手術件数の増加が目立ち、成長著しい部門です。

昨年の9月に施設・設備、診療環境、職員の言葉遣い・態度、診療技術等についての患者満足度調査を実施いたしました。総合評価では、とても満足・まあ満足が外来で85.4%、入院で92.3%でした。一方やや不満・とても不満は外来で0.9%、入院で0%でした。しかし自由記述欄にはたくさんのご意見を頂戴しました。今後も患者様の声に耳を傾け、より満足度の高い病院をめざします。

今年は病院にとって職員が一丸となって取り組まなければならない3つの大きなことがあります。4月の診療報酬・介護報酬の同時改定を見据えた対応、7月には認定更新のための病院機能評価の受審、続いて新しい医療情報システムの選定と導入のための作業、これを全職員、力を合わせて着実に達成していきたいと思っております。

今年もどうぞよろしく願いいたします。

副院長就任にあたって

新副院長 瀬口 秀孝

新しく桜町病院の病院長になられた小林宗光先生のもとで、副院長としての仕事をするようになりました。小林病院長のもと、これまでの桜町病院の歴史を振り返り、桜町病院が現在おかれている状況を直視し、桜町病院の良いところを大事にして、これからの桜町病院をどんな病院になるのかをみんなで考えていかなければいけないと思っています。周辺の病院、医師会の先生方、桜町病

院を支えていただいている多くの方々との連携を密にして、皆さんに桜町病院をもっとよく知っていただき、さらに良い医療を提供できるようになればと思います。患者さんが安心して医療を受けられる病院、そして職員が安心して働ける病院であればよいと思います。微力ではありますが努力していきたいと思っていますので皆様の御指導・御協力をよろしくお願いいたします。

新年のごあいさつ

事務部長 富田 周次

新年明けましておめでとうございます。皆さんには健やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は東日本を襲った地震、津波、原発事故により未曾有の事態を引き起こしました。被災された方々の絶望や悲しみ、恐怖心や苦しみは想像を超えるものがあると思います。新年を迎え気持ちも新たにとはいかないと思われませんが、1日も早い復興を祈るばかりです。

桜町病院は創立73年目の新年を迎えました。この4月には診療報酬の改定が予定されています。これまで幾多の改定を経てきました。この改定も私どもの病院にとっては厳しい内容のものが予想されます。病院を利用して

いただく患者さんに満足度の高い医療を提供し続けていくことができるよう、改定の方向性と病院の立ち位置を確認しながら職員一丸となって経営改善、業務改善に取り組んでいきたいと考えています。この7月には病院機能評価の更新受審があります。受審の取組みによって業務改善が図られスムーズな診療遂行につながり、患者さんの満足度の向上が図られることを期待しつつ、最後の仕上げに向け精力的な取り組みを進めていきたいと存じます。

本年も引き続きご指導ご協力をお願い申し上げます。

新年を迎えて

看護部長 奥野喜美子

昨年は「絆」「つながり」という言葉が、胸に刻まれた年でした。今年は、ひとつでも多くの明るいニュースが流れることを期待したいと思います。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

看護部では、カトリック精神に基づいた愛と祈りと奉仕の精神を基盤にし、桜の持つ癒しの心と、その優しさを心に留め、患者さんやご家族に信頼される質の高い看護の提供を目指しています。具体的な看護活動として、他職種とのコラボレーションチームである糖尿病チーム医療委員会では、患者会の「さくらまち糖友会」と連携し、

糖尿病教室やハイキング、塩分やカロリーを調整した食事会など日常生活により密着したプログラムを実践し、患者さんにも大変好評です。また、母親学級「まなごし」は生後6ヶ月までのお母さん達の育児不安の軽減を目的とした子育て支援活動です。小児科・産科医師の参加と、ボランティアの方々との協力で年々充実してきています。

今年も、地域の皆さまのご意見や、近隣病院の方々のご指導をいただきながら、期待に応えられる活動に取り組んでいきたいと考えております。今後ともご指導をよろしくお願いいたします。

無料低額診療事業について

MSW 千葉優喜子

院内の掲示物の中に「当院は無料低額診療事業施設です」という表示があるのをご存じでしょうか？
実際にご覧になった方も、無料低額診療事業とは何かわからないという方がほとんどだと思います。そこで今回は無料低額診療事業についてご説明いたします。

無料低額診療事業は厚生労働省が実施している事業のひとつです。

生活に困窮すると、医療が必要であっても治療費の捻出に困り、病院から足が遠のくことがあると思います。そもそも健康保険の取得が困難な方、また健康保険を持っていても一部負担の支払いが困難な方などがおられると思います。そのような方にも必要な医療を受けていただくために、無料低額診療事業というものがあります。文字通り必要に応じ、無料または低額で診療を行うというものです。外来診療だけでなく、状況に応じて入院医療費やその他の自己負担金などが対象になります。

東京都内には全部で34か所、当院と同じように無料低額診療事業を実施している医療機関があります。東京都社会福祉協議会を中心として、どこにお住まいの方も無料低額診療事業を受けることができるように、それらの医療機関とは日々連携をとっています。

利用方法としては、お住まいの市役所の福祉事務所へご相談いただくか、または当院へ直接ご相談いただくことになります。当院では医療ソーシャルワーカー（MSW）という専門の相談員が窓口となりご相談に応じております。医療費だけでなく、生活全般にわたって経済的に困りの方は、市役所などの行政にまずはご相談されるとよいと思います。制度の性質上、家族状況、就労状況、生活状況、収入などプライバシーにかかわることをお伺いすることになりますが、ソーシャルワーカーは秘密保持を厳守しておりますのでご安心ください。

無料低額診療事業に該当するかどうかについては、東京都より認証されている基準に沿って当院にて判断させていただいております。その結果、無料低額診療をご希望されても、収入状況などの調査により、該当とならない場合もございます。また、長期間にわたり無料低額診療を実施することも制度上難しいので、その都度ソーシャルワーカーとご相談をさせていただければと思います。

その他、当院では無料低額診療事業の一環として、生活保護を受給している方、住居を持たない方、難民申請中の外国人などの診療をお受けしております。その他、無料健康相談・保健教育として乳児健診、妊婦検診や母親学級、当院にて出産された母子の集い（まなごし）などを定期的実施しております。また、ソーシャルワーカーがホームレスを対象に医療相談会へ参加し、健康相談に応じる活動もしております。

ソーシャルワーカーへの相談は無料です。直接お越しの際は、病院入口をはいって左の相談室へお声をかけて下さい。お電話での相談にも応じておりますので、何かお困りのことがございましたら、お気軽にご連絡ください。

職場紹介 ホスピス病棟

ホスピス病棟 細倉 道子

ホスピス棟が開棟し、早17年が経ちました。木のぬくもり
に溢れた病棟で、医師・看護師・ボランティア・チャプレン
及び多くの職種の方達とチームを組みケアにあたっています。
ホスピスでの看護は、癌終末期の患者さんの辛い症状のコン
トロールと日常生活のお手伝いを中心となります。
よりよい一日を過ごして頂くためには、何より症状のコント
ロールが不可欠です。痛み・息苦しさ・吐き気・眠気・便秘 等々
といった症状の原因を考え、できる限り早くその症状を軽く
することを目標に取り組んでいます。そのため、常に患者さん
の訴えに耳を傾けるとともに、多職種の方々との情報交換
を密にしています。また、日々のケアの振り返りや毎月の病
棟勉強会を行うことによって、よりよい看護を提供できるよ
う努めています。

日常生活においては、一日のスケジュールの決定は患者さん
です。朝、お部屋を訪ねた日勤看護師がその日一日の予定
を伺い、お手伝いについて相談します。もちろん多くの方が
ご入院されていますので、すべて御希望通りとはいきませ
ませんが、御希望に近づけるよう調整していきま
す。お手伝いの方



法もお一人お一人の
状態に応じて、患者
さんやご家族と相談
しながら決めていま
す。ご病状が進んで
からもご入浴を希望
される方もいらっ
しゃいます。
その際はリスクも含
めてお話ししたうえ
で、看護師の介助の
もとでお入りいただ
くことも少なくあり
ません。



このような日常の中で、時には病気を忘れホッとできる時
間を過ごして頂くために、季節の移り変わりを楽しむことや、
様々な行事を催しています。スタッフが企画し、餅つき・豆
まき・クリスマスといった年中行事や誕生日のお祝い・音楽
会等々です。これらの会を開く時に頼りになるのがボランティ
ア存在です。ほぼ毎日、朝から夜まで一日平均15人ほどの
ボランティアが活動しています。中庭の季節ごとの花々の手
入れや玄関の落ち葉掃き・絵手紙の会・手芸・・・ボランティ
アの活動は多岐にわたります。これらの活動を通し安らぎを
与えていただいています。

今後も患者さんと御家族に寄り添うことを念頭に置き、チ
ームで力を合わせケアにあたっていきたいと思っています。

お鍋で健康

今年もあったかお鍋の季節がやってきました。
冬の食卓には欠かせない鍋料理。
冬の寒さを乗り切る体力をつけるために生み出された
日本の代表的な食べ物です。
鍋のよさは、なんとといっても一鍋でいろいろな食材を
とることができて、自然に栄養バランスが整うとい
うことです。

*旨味を出す肉や魚は良質なたんぱく質源で主菜にあ
たります。

*白菜やねぎ、きのこなどの野菜はビタミン、ミネ
ラル、食物繊維が豊富で身体の調子を整える働き
がある副菜にあたります。

野菜は健康のために1日350g以上はとりたいた
いのですが、鍋にすれば、量が減るのでたくさんと
ることができますし、煮汁も食べることになるの
で、火を通すことによって損失するビタミンC等
はカバーできます。

*しめのうどんや雑炊は炭水化物を補う主食にあ
たります。

*油をほとんど使わないのでヘルシーです。

そして何よりもあたたかくておいしいお鍋をつつくと
幸せな気持ちになるのではないのでしょうか？

具材や味付け、ちょっとした工夫でバリエーションが
広がります。

それぞれの味でお鍋を楽しんでみてください。



栄養科長 松尾 敦子

トピックス

小金井自衛消防訓練発表会で最優秀賞受賞

残暑厳しい9月13日(火) 小金井消防署主催の自衛消防訓練発
表会が、小金井公園内の広場で開催されました。当院からは消火
器の部に越川昌輝さんと平澤絵莉さんが参加しました。きびきびと
した動きで手際よく訓練成果を発表した2人は最優秀賞に輝きま
した。

桜町聖ヨハネ祭

10月10日(日)、桜町聖ヨハネ祭が「さくらまちの構内」で行われ
ました。今年も東日本大震災の復興支援を旗印に行われ、当日は
天候にも恵まれ大勢の方にご来場いただきました。病院内では医
療、看護、ホスピス、福祉、介護の各相談のほか、当院医師による
感染予防ミニ講座が開催され、多くの方が熱心に耳を傾けていま
した。

創立記念式典開催

10月18日(火)に開催された創立72周年式典では、渡邊理事長の
式辞、柴崎院長の挨拶の後、永年勤続者表彰と特別表彰が行われ
永年の労に対し感謝状が授与されました。その後の立食パー
ティーでは、過去を振り返るとともに、患者さんに愛される病院作
りへの抱負を語り合いました。

東京都・4市大規模総合訓練

10月29日(土)、平成23年度東京都・小平市・西東京市・武蔵野
市・小金井市合同総合防災訓練が小金井公園を会場として実施さ
れました。多摩直下を震源とする地震を想定し、東日本大震災に
より明らかになった教訓に対応した実践的な「シナリオを予め知ら
せないブラインド型訓練」が行われました。警察・消防・自衛隊等
の機関はじめ多くの市民も参加し、例年とは異なる訓練となりま
した。当院からは副院長や看護師が参加しました。

個人情報管理院内研修会開催

11月18日(金)、東京都病院経営本部経営企画部広報担当課長
川久保ルミ子氏による「病院における個人情報管理」の研修会が
開催されました。私たち医療従事者が、日々遭遇する具体的事例から大規模災
害時など危機的状況での個人情報への対応など、大変参考になる講演でした。
信頼される医療機関であるために、今一
度、当院の「個人情報保護方針」を読み
返して見ましょう。



外来診療担当表

平成24年1月1日現在

診療科名		月	火	水	木	金	土
内科	新患	楠本(新患)	佐藤(新患)	林(志)(新患)	瀬口(新患)	平嶺(新患)	(交替)
		林(志)	瀬口	瀬口	竹内	林(志)	後藤
	午前	平嶺	平嶺	楠本	高倉	土持	奥村(糖尿病)
		岡本	土持	竹内	古木	柏本	
			坂田	岡本		佐藤	
	内視鏡	石井					
		糸井(月1回)					
	午後	林(正)	井上	大井(裕)(第2予約制)	井上	佐藤	
			佐藤				
	内視鏡			福神	高倉	栗原	
精神神経科	午前	寺田(新患は予約制)	寺田	寺田	寺田	仁王(新患は予約制)	寺田
		森本(新患は予約制)			宮島(新患は予約制)		黄野(再診のみ)
小児科	午前	小林	小林	小林	杉立	小林	小林
		杉立	山田	杉立	山田	杉立	杉立
		山田		山田			山田
	午後	小林(心臓)	山田	杉立(一般・神経)	杉立		
		杉立		山田	中野		
	予防接種	町田(第3のみ)	町田(一般・アレルギー)				
外科	午前	山田	小林	山田	山田		
		植木	池野	李	植木	池野	池野(第2・第4) 植木(第1・第3) (交替)(第5)
	内視鏡			植木	池野		
乳腺外科	午後				伊東	井本(偶数週)	
脳神経外科	午後			石島(紹介患のみ)			
整形外科	午前	大堀	柴崎	柴崎(予約制)	大堀(予約制)	大堀(予約制)	佐藤
		山口(予約制)	須藤	山口	増岡	山口	(交替)
リハ	午前				補永		
	午後					高橋(最終週)	
産婦人科	午前	向田(利)	長谷川(芙)	向田(利)	井坂(予約制)	伊東	長谷川(芙)
		長谷川(芙)	向田(一)	永藤	長谷川(真)	小島	永藤
				飯村			
眼科	午前	大井(禎)	大井(禎)	宮本(第1・第3)	大井(禎)	大井(禎)	平岡
	午後	小穴		小穴		林(裕)	
ホスピス科	午後			林(裕)			
				大井(裕)			

休日 日曜・祝日・年末年始(12/30~1/3)

受付時間 8:30~11:30
午後診のある診療科の受付時間は各科により異なりますので、各科にてご確認ください。

診療時間 9:00~
13:30~

月曜日~金曜日の14:00~15:30の間、電話による予約受付を行っております。
電話 042-383-4111(代表)
ただし、一部の科では電話予約は行っていません。
精神神経科は初診、再診とも全て予約制となっております。

患者さんの権利と責務

患者さんの権利

1. 人間としての尊厳を尊重されながら医療を受ける権利があります。
2. どなたでも、どのような病気でも平等かつ公平な医療を受ける権利があります。
3. 病状と経過、検査や治療の内容について、分かりやすい言葉で説明を受ける権利があります。
4. 十分な説明と情報に基づき、自らの意思で医療内容を選ぶ権利があります。
5. セカンド・オピニオンを希望される場合は、当院は快く診療情報を提供します。

患者さんの責務

1. 病状などに関する情報提供に努める責務
ご自分の症状や健康に関する詳細で正確な情報を医師や看護師等へ提供することにご協力ください。
2. 適切な医療行為が提供できるように努める責務
病院内では、他の患者様等に迷惑にならないように静粛を保つとともに、当院職員が適切な医療を行えるようにご協力ください。
3. 病院秩序を守る責務
病院内の秩序を守るために、当院の諸規則に従ってください。
4. 診療費支払いの責務
病院は診療報酬によって運営されています。医療費の支払い請求を受けた時は速やかなお支払いにご協力ください。



玉川上水

病院の北側300m程の所を五日市街道沿いに西(羽村)から東(四谷)に流れる水路。江戸時代に江戸市中の飲料水供給のために作られた水路で総延長は43km。小金井付近は水路の両側に「小金井の桜」が美しい。

編集後記

明けましておめでとうございます。
今年こそは世界や日本に、患者さんや皆さんにとって、そして桜町病院にとっても良い年になることを願っております。
新しい年を迎えるとともに、桜町病院は新院長の下でのスタートとなりました。
それぞれの立場でのご協力をお願いいたします。
(周)